

秋の彼岸によせて

平成十二年九月 大乘寺 副住職 岡 光俊

今の時代、なにがどのようになっていっているのか、全く解らないと思われませんか？不景気、リストラ、倒産……。なのに、今年お盆休みを利用して海外へ出かけた旅行者の数は、史上最高とか。どこの店にも商品は溢れ、少年犯罪が紙面を重くしています。

少年犯罪に至っては、教育、家庭、親、本人、社会、と色々掲げて、悪い原因を見つけようとしている素振りをし、ことの過ぎるのを傍観しているのが大方で、真剣に自分のこととして考え、自分たちの子供への対応を、その日から変えた人はいないのではないのでしょうか。犯罪や非行を犯す子供たちや大人の共通しているのは、感謝の心をまったく持っていないという点ではないのでしょうか。

私たちも、心こころ安あん穩のんに日々が過ぎせることを、当たり前と思っていないでしょうか。そして日常の会話のなかで、価値あるものとして物やお金、地位や名誉において語ってしまったてはいないでしょうか。権力や地位は、国が崩壊し、会社が倒産すれば一夜でなくなり財を手にしても、病に、また死に至れば、財はなんの意味も持たなくなりません。争いの原因ぐらいにはなるでしょうが。物の世界だけでは、人は大変不安定になってしまいます。心の世界が必要なのです。

心の世界といっても、人間とは本当に困ったもので、誤解ばかりが多く、正しく理解しようとはしません。例えば、感謝一つにおいても、多くの人は、自分に都合がよいことが起きると感謝をする、欲の感謝を感謝と思っています。しかし、この感謝は、周りの条件が刻々と変化するものですから、その都度、感謝したり怒ったり、一日で幾度もこのことを繰り返すことになります。皆さん思い当たりませんか。これは偽物の感謝なのです。また、当たり前と思うことは、この世のなかにはなに一つないということをご存知ですか、このことがあなたのなかで自覚できた分、一つ一つ感謝と変わっていくのが、ご自身のなかで体験できます。

では本当の感謝、何時いつも変わらない感謝とはどのようなものなのでしょう。人間が生きていくには無数の条件が必要でしょう。そのなかに間違いなく入る一つは、肉体の存在で、それがなければなにも始まりません。その最も大切な肉体を頂いた両親に感謝することが、まず大切でしょう。己おのれの存在に心から喜べる人は幸いです。己おのれの存在に心から喜べる人は、両親の存在に心から感謝でき、それぞれの無限の両親の存在（「ご先祖さま」）に感謝できるはずです。見返りを求めない感謝こそ、本当の感謝です。無限の両親に感謝することは、無限の両親に喜んで頂くことであって、生きている皆さんが都合よく、楽な暮らしをするためではありません。それは、ご先祖さまの名を借り、ご先祖さまを利用してでも自分が幸せになるうとする偽善者の行いです。

本当のご先祖供養は、己おのれの身を犠牲にしても、ご先祖さまのご成佛じよぶつと安穩あんゑんを願うことです。このことを深く自覚し、心静かに本当の感謝を両親とご先祖さまにさせて頂き、定められた経巻どくじゆを誦し、反省、改心させて頂き、ご自身の欲が少しでも離れ、本当の感謝が身につき、心穏やかな日々を送られ、子々孫々までも正しい感謝の心を身につけて頂き、正しい心を持った子孫が繁栄されんことを、心より願っております。